



環境交流プラザサポーター募集

楽しみながらエコ活動を広める

宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザは、楽しく環境について学ぶことができる施設です。施設で自分の経験を生かして活動するボランティアスタッフがいます。



第6期サポーター募集
来年4月から活動するサポーター

現在35人が活動中

環境交流プラザは、イベントや講座を開いて、エコ活動の啓発に取り組んでいます。活動を支えているのが、35人の環境交流プラザサポーター。特技や経験を生かし、楽しみながら活動しています。ものづくりが好きな人は、工作や手芸講座の講師やサポーター、展示品の作成を行います。サポーターのみで講座の企画から実施まで行うことも。小学生の工場見学ガイド役を担ったり、職員と一緒に出前授業に出向いたりすることもあります。都合のいい時間に行けるのも魅力。プラザ開館当初からサポーターとして5年間活動を続けている人もいます。

クリーンセンター工場内で、ごみがどのように処理されているのか説明します。見学者にクイズを出したり、見学者からの質問に答えたりしながら楽しく学べるように工夫しています



市ホームページ「環境交流プラザサポーターを募集」へ
詳しくはQRコード

市ホームページ「環境交流プラザサポーターを募集」へ
詳しくはQRコード

趣味が広がりました

イベント楽しんでます

工場見学はまかせて

自分も学んでます

いろんな人と話すのは楽しいです



ポスターでエコバッグを作成する講座をサポート

活動は学ぶことが多い
学生時代からボランティアに興味があり、社会人になって登録しました。サポーターへの支援も手厚いので、初めてでも安心して活動できました。プラザ内だけでなく、環境フェアなどの屋外イベントにも参加するなど幅広く活動しています。人と一緒に何かをするのは好きなので、楽しいですね。活動を通して学んだり、気付いたりすることもあります。サポーターの皆さんは年齢も職業も違うので、活動中に話を聞けるのも楽しみです。これからも活動を続けていきたいと思っています。



サポーター歴2年目
加賀田沙織さん

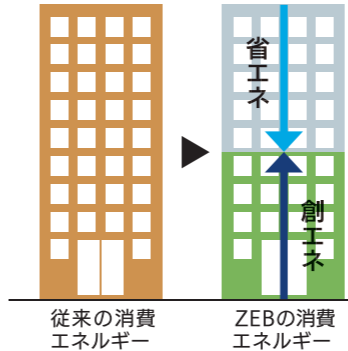


環境部庁舎が「ZEB」認証を取得

ゼロエネルギー庁舎 改修開始

庄島町の環境部庁舎が9月から改修工事を始めました。自治体の既存の建築物が最高ランクのZEBの認証を取得するのは全国初。省エネだけでなく、エネルギーを創り、蓄えられる建物へと変わります。

ZEBで消費エネルギーが実質ゼロになります



自治体既存の建物で初認証
ZEBとは、Net Zero Energy Buildingの略。室内を快適に保ちながら、年間のエネルギー収支を実質ゼロにすることを目指す建物です。消費エネルギー量を減らす「省エネ」と太陽光発電などエネルギーを創り出す「創エネ」でZEB化が実現します。
環境部庁舎は、空調などが老朽化し、改修が必要な状態でした。そこで地球温暖化緩和につながるZEB化に取り組み、7月10日、改修計画が最高ランクのZEB認証を取得。自治体の既存の建物での認証は全国で初めてです。
省エネで高効率空調や複層窓ガラス、断熱材、LED照明など、創エネで太陽光発電、蓄電池などのさまざまな設備を導入。これで年間約16世帯分の二

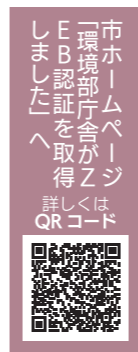
酸化炭素の排出量を削減することができま

停電でも業務が可能に

災害が発生すると、環境部は災害ごみの収集や家屋の消毒などの拠点となります。ZEB化によって、停電しても自前で電力を発電し、蓄電もできるので業務を続けることができます。財政面でも、電気やガスの使用料を年間で約290万円削減。国からの補助金などを活用すると、空調だけの改修と比較して、20年間で約4000万円の節約になります。

家庭でも取り組める

太陽光発電や蓄電池などを導入すると皆さんの家も「ゼロエネルギーハウス」になります。新築やリフォームのときに省エネ設備を選択することで、温室効果ガスの発生を抑制し、地球温暖化の緩和に貢献することができます。



市ホームページ「環境部庁舎がZEB認証を取得」へ
詳しくはQRコード

環境政策課 ☎0942・30・9146、FAX0942・30・9715

住宅の省エネで最大14万円補助

自立分散型エネルギーシステム導入補助金

家庭で使うエネルギーを自給自足するための設備を導入した際に、費用の一部を助成しています。エネファームや蓄電池など対象のシステムを設置するかシステム付きの住宅を購入する人が対象です。詳しくは環境政策課へ問い合わせてください。



改修後にZEBの認証プレートを庁舎に取り付けます